

平成24年度 技術士第二次試験 (筆記) 受験セミナー開講案内

技術士第二次試験制度改定によるカリキュラム対応！

20 部門は
2/4、3/17に
開講！
受講申込
受付中

合格への第一歩！

- ★あなたの受験部門に最適の技術士が『合格』にむけて、マンツーマンの徹底指導！！
論文作成の実力を一段とUP！
- ★願書の書き方から、担当講師が総合的かつ丁寧に指導。

「1～20技術部門」 ↔ 受講期間：2月開講コース 平成24年2～7月
3月開講コース 平成24年3～9月

★2月・3月に早期スタート！本試験にむけて早めに準備ができます。

「総合技術監理部門」 ↔ 受講期間：平成24年4月～10月

＜ 受講のおすすめ ＞

当協会は過去40余年にわたり、技術士試験の受験指導を行い多数の合格者を輩出しています。平成23年度も最新の受験情報に対応したカリキュラムによる、受験セミナーを開講します。技術士資格は、わが国で技術者の最高ランクに位置するライセンスであり21世紀に活躍する技術者には欠かせない資格です。ぜひ当協会の受験セミナーに参加いただき、受験準備を1日でも早くスタートさせ、合格の栄冠を勝ち取ってください。

・指導講師陣

(社)大阪技術振興協会は、高度な専門技術と豊富な経験と実績を有する技術士の集団によって構成されている、文部科学省所管の公益法人です。各分野に亘る専門技術力とその総合力によって、広範な技術的な課題の解決、総合的かつ中立・公平な立場で貢献しています。

セミナーでは、当会所属の技術士の中から、指導経験豊かな、かつ受講生の技術分野に最適な技術士を各受講生毎に選任し、講師として指導にあたります。当セミナーは40余年にわたる技術士第二次試験受験の指導経験を蓄積しており、出題傾向を検討し、また受講者の毎年の試験結果を常にフィードバックして、指導方針の検証を重ねております。

・技術士第二次試験の目的

技術士第二次試験は受験者のどのような能力を検証しようとしているのかについては、技術士法第6条に「技術士となるのに必要な技術部門についての専門的学識及び高等の専門的応用能力を有するかどうかを判定することをもってその目的とする。」と明記しています。前者は法改正により追加された部分であり、後者は従来どおりであり、技術士試験での最重要部分です。この目的達成のため技術士第二次試験は筆記試験と筆記試験合格者のみに対して行われる口頭試験からなり、口頭試験合格者のみが技術士第二次試験合格者となります。また、口頭試験不合格者は筆記試験から受験しなおさなければなりません。

開催場所：大阪科学技術センタービル内研修室

主催：(社)大阪技術振興協会

平成24年度 技術士第二次試験 20部門（筆記）受験セミナーの案内

期 間：平成24年2～7月・3～9月

セミナー対象の技術部門（網かけ部門は今年度未対応）

① 機 械	② 船舶・海洋	③ 航空・宇宙	④ 電気電子	⑤ 化 学
⑥ 織 維	⑦ 金 属	⑧ 資源工学	⑨ 建 設	⑩ 上下水道
⑪ 衛生工学	⑫ 農 業	⑬ 森 林	⑭ 水 産	⑮ 経営工学
⑯ 情報工学	⑰ 応用理学	⑱ 生物工学	⑲ 環 境	⑳ 原子力・放射線

◎ 当セミナーの開講部門は上記の15部門とその選択科目のみとしています。これらの技術部門・選択科目の中には互いにオーバーラップしているように見えるものがあり、受験者の業務経歴や技術経歴によって迷う場合があります。当セミナーの担当講師は経験豊富であり、受験者に最適な技術部門、選択科目の選択をアドバイスします。

第二次試験(20部門)受験セミナー・スケジュール

・開催場所は大阪科学技術センタービル内セミナールーム

日程・スケジュール・時間		講習内容		研修室名 (予定)	
コース	2月開講		3月開講		
	A1*	B1	A2*	B2	
1	1	2月4日[土] A: 10-17 B: 10-17	3月17日[土] A: 10-17 B: 10-17	ガイダンス・ 講師面談・ 論文指導 1.ガイダンス(受験準備の要点、選択科目の選び方) 2.合格者受験体験発表 3.担当講師と初面談(グループ指導) ●論文の書き方指導 選択科目・必須科目及び体験論文 ●選択科目(I)および必須科目(II)の勉強法 (1)選択科目の勉強法 (2)必須科目の勉強法	2月開講: 602 3月開講: 605
2	2	4月7日[土] A: 10-17 B: 13-17		体験指導・ 進路指導 1.体験論文、テーマ選定および書き方の指導(午前中) 2.技術部門、選択科目の確認 3.受験申込書(願書)配布、受験申込書記入要領の指導 業歴のあらすじ、専門技術、業績を各自記入提出 4.全科目(I、II、体験論文①回目)宿題配布 <提出期限 4/25(水)> *Bコースは、体験論文なし	午前 605 午後 中ホール
3	3	5月12日[土] A: 13-17 B: 13-17		宿題指導 ●4/7配布の宿題(I、II)の個別添削指導 過去問題の傾向と対策指導 ●体験論文①回目の個別添削指導 体験論文構成及びテーマ選定の指導 *Bコースは、体験論文なし	B101 B102 602
4	4	6月9日[土] A: 13-17 B: 無	体験論文指導 ●体験論文の個人別添削指導(午前中指導の場合有り) 体験論文②回目<提出期限 5/29(火)> *Bコースは、体験論文なし	605	
5	4	6月16日[土] A: 10-17 B: 10-17		模試 ●模擬試験実施 必須科目(II) 10:00~12:30 選択科目(I) 13:30~17:00	401
6	5	7月7日[土] A: 13-17 B: 13-17		模試指導 1.模擬試験に関する個別添削指導・グループ指導 必須科目、選択科目(午前中指導の場合有り)	中ホール
6	6	9月15日[土] A: 13-17 B: 無		体験論文指導 ●体験論文の個人別添削指導(午前中指導の場合有り) 体験論文②回目<提出期限 8/31(金)> *Bコースは、体験論文なし	B101 B102

(注)・個別指導については、受講生の都合に合わせ、個別指導日、時間帯の変更もできますので担当講師と相談してください。
・個別指導のカリキュラムの際は、講習時間内に『ひとりあたり約1時間~1時間30分』で指導を行います。

* Aコース(A1:2月開講、A2:3月開講)は、「厚生労働大臣指定教育訓練講座」の適用講座です。

◎平成24年度 技術士第二次試験日程

■ 願書配布:平成24年4月2日~5月8日

■ 願書受付:平成24年4月11日~5月8日

■ 筆記試験:平成24年8月4日(土)総合技術監理部門(必須科目) ・8月5日(日)20技術部門

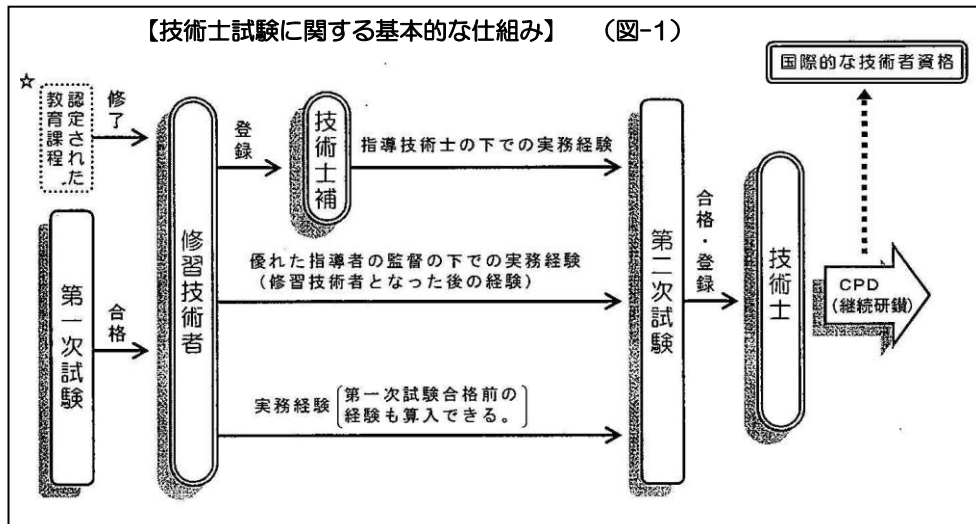
■ 筆記合格発表:平成24年10月下旬

■ 体験論文締切:筆記試験の合格した受験者にあらかじめ通知する期日

■ 口頭試験:平成24年12月~平成25年1月のうちの1日

■ 口頭合格発表:平成25年3月上旬

技術士第二次試験のあらまし



(注)
 技術士補となる資格の特例として「認定された教育課程の修了者」とありますが、これは、「大学その他の教育機関における課程であって科学技術に関するもののうち、その修了が第一次試験の合格と同等であるものとして文部科学大臣が指定したものを修了した者」のことです。なお、この修了者は平成16年4月1日からです。
 (技術士法第三十一条の二第2項)

◎筆記試験内容

- 技術部門ごとに設定された選択科目の中から、あらかじめ選択した1つの選択科目について行われます。試験は、筆記試験と筆記試験合格者を対象とする口頭試験とからなっており、筆記試験は記述式で以下の表の試験科目及び内容が問われます。

試験科目	問題の内容	試験方法	試験時間
選択科目 I	「選択科目」全般にわたり、技術士として必要な専門知識と応用能力を問う問題	記述式 (600字詰用紙6枚以内)	3時間30分
必須科目 II	「技術部門」の各選択科目に共通で技術部門全般にわたる論理的考察力と課題解決能力を問う問題	記述式 (600字詰用紙3枚以内)	2時間30分

★筆記試験合格後「技術的体験論文」提出 (図表等を含め3,000字以内でA4用紙2枚以内とし、白黒とする。)

コース別指導内容

指導科目	Aコース* (A1・A2)	Bコース (B1・B2)
選択科目 (I)	●	●
必須科目 (II)	●	●
体験論文 (口頭試験用) (添削指導・集合教育)	●	—
指導内容	全科目に亘って指導	体験論文以外の科目指導

(注)・割引を重複して受けることはできません。

コース別受講料金 (消費税込・一括払)

(円)

受講者区分	Aコース* (A1・A2)	Bコース (B1・B2)
① 一般受講者	120,000	100,000
② 当協会の会員 (団体会員・個人会員) または 過去3年受講者割引	110,000	90,000
③ 追加指導	20,000 / 1回 / 1科目	

◎セミナー受講条件

- 技術士第二次試験受験資格をみたす方、又は近日中に条件を満たす方。
 今年度技術士第二次試験を受験されようとする方。
 すでに一次試験合格者で、必要な実務経験習得者受験 (図-1 参照) は二次試験を受験できます。
 受講資格に適合しないと判断した場合は、当委員会から連絡します。この場合に限り受講料を返金します。

◎出張セミナー

- 受講者数がまとまっている場合 (5名以上) には、ご希望により出張セミナーとして受託することも可能です。
 詳細は、事務局までお問合せください。

◎口頭試験受験セミナー (H24/11~12月開催予定)

- 平成19年度の二次試験制度の改訂により筆記試験合格後「技術的体験論文」の提出となります。
 口頭セミナーもそれに合わせ「体験論文指導&口頭試問」のコースを開催します。(受講生割引有)

教育訓練給付制度について

「教育訓練給付制度」とは、働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。

一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者または一般被保険者であった方が、厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練経費の一定割合に相当する額（20%）がハローワーク（公共職業安定所）から支給されます。

- 当協会の20部門（筆記）受験セミナーA コース（A1・A2）は、厚生労働省「厚生労働大臣指定教育訓練講座」の適用講座です。
- A コース受講生・給付金申請希望者のうち、下記のすべての条件を満たす場合に、セミナー修了時、関係書類をお渡し致します。

記

1. 給付申請条件：①または②の条件に該当する方。

① 雇用保険の一般被保険者

- ・受講開始日において被保険者であった期間が通算して3年以上であること。
- ・過去に給付金を受けたことがある場合、支給に係わる教育訓練を開始した日から3年以上経過していること。

② 雇用保険の一般被保険者であった方

- ・受講開始日において一般被保険者でない方のうち、資格を喪失した日以降、受講開始日までが1年以内であり、かつ支給要件期間が3年以上あること。

*上記①②とも、当分のあいだ初めて教育訓練給付の申請にかぎり、支給要件期間が1年以上あれば受給可能

2. 受講修了条件：次のすべての条件に該当する方。

① 規定の講習日の8割以上の出席 ② 全科目宿題（論文）の提出。（評価が70点以上の論文）

③ 模擬試験の出席及び全科目（論文）の提出。（評価が70点以上の論文）

3. 受講支払条件：次のすべての条件に該当する方。

① 当セミナーの受講にあたり、当協会に自ら受講申込みを行い、また受講料を自ら支払った方。

（従って、企業名義の支払い又は振込は無効です。）

20部門セミナー申込み要領

■ 申込方法：①右面の申込書に必要事項をご記入のうえ、(社)大阪技術振興協会まで郵送・FAX またはホームページ（www.otpea.or.jp）にてお申込みください。

② 受講料は、受講者の名義で指定銀行口座に振込下さい。

（開講日の5日前までにご入金ください）

*領収書が必要な場合は、銀行振込票と引き換えに発行いたします。

*企業等で複数受講者分をまとめてお振込みの場合は、セミナー事務局まで受講者名をご連絡ください。

*「教育訓練給付金」の受給を希望の場合は、銀行振込票をご持参ください。引き換えに当協会の領収書を発行いたします。なお、領収書は各自、給付申請時まで大切に保管下さい。

（団体・企業等からの振込は無効、受講者本人の申込と支払が必須）

③ 受講資格に適合しないと判断（当委員会）した場合に限り、受講料を返金します。

その他の理由での申し込み後キャンセルによる受講料の返金は出来ません。

■ 銀行口座：三井住友銀行 備後町支店 ・普通口座 No.698974 ・口座名/（社）大阪技術振興協会

■ 申込締切：2月開講：平成24年1月30日（月）、3月開講：平成24年3月12日（月）

申込締切り後に受講希望の場合は、別途事務局までご連絡下さい。

■ 申込後：受講者宛に参加証を発行いたします。

*この案内書は、口頭試験受験セミナーのご案内を省いております。口頭試験受験セミナーは、筆記試験に合格された方を対象として11月下旬頃に開催します。合格者には当協会より、口頭試験受験セミナーのご案内を郵送します。

【お問合せ・お申込み先】

社団法人 大阪技術振興協会 セミナー事務局

〒550-0004 大阪市西区靱本町1丁目8番4号 大阪科学技術センタービル504号室

TEL：06-6444-4798 FAX：06-6444-4818

URL <http://www.otpea.or.jp/>（H.P.からでもお申込み受付ます）

平成24年度 技術士第二次試験20部門(筆記)受験セミナー申込書

(社)大阪技術振興協会
技術士育成委員会

該当項目に記入、チェック・○印をつけて下さい。

コース	2月開講		3月開講	
	A1	B1	A2	B2
教育訓練給付金 希望 (指定講座 Aコース)	有・無		有・無	

ふりがな 氏名			受験回数	<input type="checkbox"/> 初めて <input type="checkbox"/> 回目	整理No.	※	
			一次試験	合格した年 _____ 年			
			割引有無	<input type="checkbox"/> ・過去3年受講歴 (H21~23年度筆記だけ-受講歴) <input type="checkbox"/> ・一般 <input type="checkbox"/> ・個人会員 <input type="checkbox"/> ・団体会員			
生年月日	19 ____ 年 ____ 月 ____ 日生(____ 歳)		支払方法	* 銀行振込 (開講日の5日前まで) 受講料: _____ 円			
メールアドレス			現住所	〒 _____		TEL: _____ FAX: _____	
技術部門		選択科目		専門とする事項			
勤務先	名称 (部課名まで)						
	所在地	〒 _____		TEL: _____ FAX: _____			
学歴	最終学校名	_____ 在学・中退・卒業					
	学科名	_____					
・学位 ・検定 ・免許等	種類	① _____	② _____				
	取得した年月	① _____ 年	② _____ 年	_____ 月 _____ 月			
業務経歴	勤務先		役職名	職務内容	年月数		
担当講師	※ _____		事務局記入欄	※ _____			

● 技術士部門が判然としない方は、2部門記入して下さい。 ※欄は記入しないで下さい。

平成24年度 技術士第二次試験 総合技術監理部門（筆記）セミナーの案内

期 間：平成24年4月～10月

◀◀◀◀◀◀ カリキュラム構成 ▶▶▶▶▶▶

カリキュラムは、総合技術監理部門の必須科目に関する講義、模擬試験と答案の添削指導、解答要点の解説、受験対策等、当協会の総合技術監理部門技術士が指導

筆記試験内容

- すでに技術士となる資格を有する者が、総合技術監理部門を受けようとする場合、技術士資格を有する技術部門に対応する総合技術監理部門の選択科目が免除されます。すなわち、総合技術監理部門の必須科目のみを受験することになります。
- 必須科目は具体的には、高度かつ十分な実務経験を通じ修得される照査能力等に加え、業務全体を俯瞰し、総合的な分析、評価を行い、これに基づく最適な企画、計画、設計、実施、進捗管理、維持管理等を行う能力とともに、万一の事故等が発生した場合の拡大防止、迅速な処理にかかわる力を確認する問題が出題されます。
- 試験は、筆記試験と筆記試験合格者を対象とする口頭試験とからなっており、筆記試験は記述式および五肢択一式で以下の表の試験科目及び内容が問われます。

試験科目	問題の内容	試験時間・方法
選択科目 (Ⅰ・Ⅱ)	20技術部門の筆記試験のことである。 ・選択科目Ⅰ ・必須科目Ⅱ [筆記20部門の内容参照]	記述式(Ⅰ) 3時間30分 記述式(Ⅱ) 2時間30分
必須科目 (Ⅱ-1・Ⅱ-2)	「総合技術監理部門」に関する課題解決能力及び応用能力	五肢択一式(Ⅱ-1) 2時間 <40問出題 全問解答> 記述式(Ⅱ-2) 3時間30分 <600字詰用紙5枚以内>
★筆記試験合格後、口頭試験の前に「技術的体験論文」を提出する。(図表等を含め3,000字以内でA4用紙2枚以内とし、白黒とする。)		

プログラム

・開催場所は大阪科学技術センタービル内セミナールーム

セミナー日程		セミナー内容 (予定)	開催場所(予定)
STEPⅠ 4月14日(土) 10:00~17:00	講義	1) ガイダンス(セミナーの進め方) 2) 技術士制度における総合技術監理部門の全容 3) 総合技術監理部門の受験準備 4) 口頭試験事前提出の体験論文への取り組み 5) 宿題の回答提出について 6) 質疑応答	601
STEPⅡ 5月12日(土) 13:00~17:00	個別及び 全体講評	1) 宿題(昨年度試験問題Ⅱ-2)の添削結果個別講評・指導 2) 同上全体講評 3) 質疑応答	601
STEPⅢ 6月23日(土) 10:00~16:30	必須科目 模擬試験	◆模擬試験 1) Ⅱ-1(五肢択一問題・・・解答・解説書を試験後配布) 2) Ⅱ-2(課題論文問題)	601
STEPⅣ 7月7日(土) 13:00~17:00(予定)	個別及び 全体講評	1) 模擬試験課題論文問題の答案の添削結果個別講評・指導 2) 同上全体講評 3) 質疑応答 (注)参照	601
STEPⅤ 10月13日(土) 13:00~17:00(予定)	個別及び 全体講評	1) 事前に提出する体験論文の添削結果個別講評・指導 2) 同上全体講評 3) 質疑応答 (注)参照	601

(注)・個別指導のカリキュラムの際は、講習時間内に『ひとりあたり約1時間~1時間30分』で指導を行います。

受講料(消費税込み)

一般受講者	会 員	過去3年(H21~筆記終了)受講者割引
60,000円	55,000円	55,000円

(注)・割引を重複して受けることはできません。 ・会員とは(社)大阪技術振興協会の個人会員または団体会員企業に属すること。

- 受講資格：平成24年度 技術士第二次試験「総合技術監理部門」に受験申込みをされる方。
- 申込方法：①下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、(社)大阪技術振興協会まで郵送・FAXまたはホームページ(www.otpea.or.jp)にてお申込みください。
②受講料は、受講者の名義で指定銀行口座にお振込ください。
(開講日の5日前までにご入金ください)
*領収書が必要な場合は、銀行振込票と引き換えに発行いたします。
*複数受講者分をまとめてお振込みの場合は、セミナー事務局まで受講者名をご連絡ください。
*受講資格に適合しないと当委員会が判断した場合に限り、受講料を返金します。

■銀行口座：三井住友銀行 備後町支店 ・普通口座 No.698974 ・口座名/(社)大阪技術振興協会

■申込締切：平成24年4月6日(金) [但し定員30名につき、定員になり次第締切ます。(先着順)]
申込締切り後に受講希望の場合は、別途事務局までご連絡ください。

■申込後：受講者宛に参加証を発行いたします。
(注)受講者は「技術士制度における総合技術監理部門の技術体系」(第二版 平成16年1月)をご持参ください。
〔1冊600円 公益社団法人日本技術士会 近畿本部にて販売〕

● 総合技術監理部門受験セミナーは「教育訓練給付制度」対象講座の認定は受けていません。

- この案内書は、口頭試験受験セミナーのご案内を省いております。口頭試験受験セミナーは、筆記試験に合格された方を対象として11月下旬頃に開催します。

【お問合せ・お申込み先】 社団法人 大阪技術振興協会 セミナー事務局
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル504号室
TEL:06-6444-4798 FAX:06-6444-4818
URL http://www.otpea.or.jp/ (H.P.からでもお申込み受付ます)

平成24年度 技術士第二次試験 総合技術監理部門 (筆記) 受験セミナー申込書

(社)大阪技術振興協会 技術士育成委員会

該当項目に記入、チェック・○印をつけて下さい。

【申込送付FAX:06(6444)4818】

ふりがな		受験回数	<input type="checkbox"/> 初めて	整理No.	※
氏名			<input type="checkbox"/> 回目		
氏名		生年月日	19 年 月 日 生 (歳)		
割引有無		支払方法	<input type="checkbox"/> 60,000円 <input type="checkbox"/> 55,000円		
<input type="checkbox"/> ・個人会員 <input type="checkbox"/> ・団体会員 <input type="checkbox"/> ・過去3年受講歴 <input type="checkbox"/> ・一般 (H21~23年度筆記だけ受講歴)			* 銀行振込 (開講日の5日前まで)		
現住所		〒 TEL : FAX :			
選択科目 (例) 農業—農芸化学		技術士資格 (20部門)有の場合		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	合格年 年
		一次試験合格年		年 年	
勤務先	名称 (部課名まで)				
	所在地	〒 TEL : FAX :			
Eメールアドレス		事務局記入欄		※	

※欄は記入しないでください。